



前田大使の離任レセプション開催

前田大使は、3年間のキルギス国駐箚日本国特命全権大使としての職務を終えるにあたり、10月6日、離任レセプションを開催しました。レセプションには、バイサロフ内閣副議長、マドマロフ外務次官、議会議員の皆様のご臨席を賜りました。

以下に前田大使の挨拶を抜粋して掲載します。

「・・・『時間が飛ぶように過ぎていった』とはよく言いますが、私の任期は「飛ぶ」と表現できるほど順調で穏やかなものではありませんでした。・・・私は2019年10月に着任しましたが、その半年後に新型コロナウイルス感染症が流行し始め、着任1年後には政治的動乱が発生しました。・・・私の任期の半分以上は、パンデミックにより活動が制限され、もどかしく思ったものです。しかしながら、キルギスで、キルギスのために働くことができたことは大きな幸運です。本日、こんなにも多くの友人に見送られて幸せです。

共和国議会議員の皆様、外務省をはじめとする政府機関の皆様、ビジネス界、JICA、日本センター、日本企業、そして全ての関係者の皆様から賜りましたご支援に対し、心より御礼申し上げます。外交団と国際機関の皆様との協力関係にも御礼申し上げます。・・・日本で、世界のどこかで、またお目にかかりましょう。」



(丁)